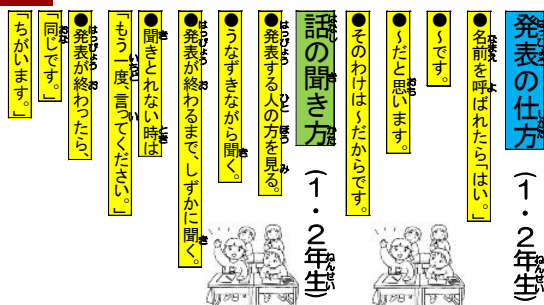


# 学力向上に向けた取組

函館市立大船小学校

## 1 課題

- 学力向上に向けた特別委員会の活用
- 複式クラスへの指導体制及び指導方法の工夫と改善
- 教師の授業力向上



## 2 課題解決の具体策

- (1) 校内の「学力向上委員会」による学力向上の推進と校内の「特別支援委員会」を中核とした個への支援計画
- (2) TT・教科担任制の活用
- (3) 全学年授業公開と研修会等への積極的参加

## 3 取組の概要

- (1) 本校では、平成20年度から「学力向上委員会」「特別支援委員会」を立ち上げ、PDCAのマネジメントサイクルを活用し個別の指導計画に基づく積極的な支援を行っている。全校児童が標準学力検査(CDT-II)を行い、結果の分析を通して、各学年ごとに具体的な改善計画を作成し実行している。特に、「大船小学力向上プラン」の推進を担い、今年度は「発表の仕方」「話しの聞き方」を設定し、全校体制で取り組んだ。「めざす学校像；明日の登校を心待ちにする楽しい学校」「めざす児童像；夢と希望をもち自ら学ぶ児童」のように、子ども一人ひとりが生き生きと光り輝き学校の主人公となるような大船小のめざす姿に向けて取り組んでいる。
- (2) 平成21年度から、2・3年生の複式クラスができ、複式教育の充実を目指しTT・教科担任制の活用をしている。例えば、「音楽科」「生活科」「体育科」を1・2年生合同で学習するなど、発達課題と学習内容を考慮しながら、より学習効果が上がるような指導体制及び指導方法の工夫と改善を図っている。
- (3) 「常に子どもの側に立ち研修を深め、創造する教師」を目指し、全学年授業公開を通しながら、教師相互に切磋琢磨し合って授業力を高めようとしている。さらに、平成23年度の新学習指導要領完全実施を意識し、本校では外国語活動を35時間実施した。校内の研修テーマは「道徳」ではあるが、それとは別に、高学年の担任だけでなく全職員が「Joyfull Word」などの研修会に進んで参加し、全教員で授業力向上に結びつくよう研修に取り組んでいる。

## 4 成果と課題

- 「学力向上委員会」「特別支援委員会」を活用することで、「学力向上プラン」や「発表の仕方」「話の聞き方」等が学校全体としての取り組みとなり、職員相互の共通理解のもとで教育活動を進めることができた。
- 地域や児童の実態に合わせた家庭学習の習慣化を目指し、地域・保護者と共に一層の推進を図っていく。